

農場衛生管理に努めよう

飼養環境の改善は、事故防止、家畜伝染病予防につながり、作業の効率化も図られます。

衛生管理基準を遵守し、農場を衛生的できれいな飼養環境に整えましょう。

一 牛舎環境を整える

① ウイルス・細菌を抑制する
牛舎内は、できるだけ湿度を下げ乾燥させることを重視し、消石灰やゼオライトを通路や牛床などに撒きましょう。



石灰を散布し舎内を清潔に

また、牛舎や処理室の出入口には、消毒槽を設置するようにし、汚れたらすぐに交換するようにしましょう。

細菌やウイルスを持ち込まないことが鉄則です。



踏込槽で消毒を

② 換気を良くする

尿溝などから揮発するアンモニアによって、エサの採食量の低下や子牛の呼吸器病の原因にもなります。繋ぎ牛舎は窓を外し、大型換気扇などで空気の流れをつくり、牛に新鮮な空気が当たるようにしましょう。

③ 野生鳥獣・虫の侵入を防止する

ガラス・ハトやキツネ、ハ工等の侵入を防止するため、通用口や窓にネットを張る対策を施しましょう。



防虫ネット等で動物や害虫の侵入を防ごう

④ 水槽は清潔に
飼料摂取には、水が重要です。汚れているウォーターカップや水槽は定期的に掃除をしましょう。



ウォーターカップの汚れ



清掃された水槽

二 衛生環境の改善を

そこで衛生環境改善のため、ゼオライトと消石灰を混合した資材『ゼオライト混合石灰（商品名…デオドラント・ゼオ®）』の活用法を紹介します。

◆使用方法◆

水で溶いたゼオ石灰をコンプレッサーとリシガンで吹き付けると簡単に作業できます。生石灰のような熱の発生もないので安全で、乾きが早く、牛が舐めても安全です。



リシガン



リシガンによる吹き付け作業



吹き付け後、真っ白になった哺育ペン

リシガンによる塗布は、牛舎の壁面や子牛のハッチ等に吹き付けることで、きれいになり、感染症の予防にもなります。
この際、飼養環境の改善をしてみませんか？
手間がない方は業者委託で済みますので、普及センターまで問い合わせてください。

デオドラント・ゼオの主な特徴

- ☆ゼオライトにより脱臭効果があり、湿度を調節
- ☆糊が配合されており剥がれにくい
- ☆冬場の施工が可能